2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330422094	図画工作教育法 Drawing and Handycrafts Department of Education Act	松井 素子			2	選択	2後期

科目の概要

DP2に記載される、小学校教諭として社会的に自立して生きていくために必須である、免許取得のための教科教育指導に関するスキル・リテラシー・教養等における一般的知識や技能を学修する。さらに、DP3記載に基づく図画工作科指導に必要な専門的知識・技能の習得を目指す。
そのためこの科目では、美術教育の歴史や学習指導要領に示される内容や領域の変遷、学習指導に必要な発達段階に関する知識等、図画工作科教育に必須な諸相を取り上げ講義する。また、図画工作科の題材に多く用いられる材料についての実技を伴う小演習を行う。公立小学校での実務経験で実践した児童作品を示しながら講義と演習を重ねることで、図画工作科の指導を行うために必要な美術教育に関する知識と技能を習得し、教材研究に係わる能力及び意欲を培い、図画工作科の学習指導案を試作品とともに作成しながら模擬授業を実践できることを目標とする。

学修内容	到達目標
① 図画工作科の今日的課題や動向を理解する。 ② 美術教育と図画工作科教育の歴史と理念を理解する。 ③ 子どもを取り巻く諸問題と造形活動；美術・芸術・アートの動向について理解する。 ④ 図画工作科の学習指導要領の変遷（昭和）について理解する。 ⑤ 図画工作科の学習指導要領の変遷（平成・令和）について理解する。 ⑥ 図画工作科の構造や領域について理解し、学習指導要領にそった学習指導案を作成する。	① 美術に係る教科・科目の構成と内容、及び、今日的課題を理解することができる。 ② 美術教育と図画工作科教育の歴史と理念を理解することができる。 ③ 子どもを取り巻く社会背景と造形活動、現代の社会的課題を解決する現代アートの動向について理解できる。 ④ 関係法規の内容を知り、学校教育の諸相の変遷と法的根拠を把握できる。 ⑤ 学校教育の諸相の変遷と法的根拠を、資質・能力及び造形的な見方・考え方の理解を含めて理解できる。 ⑥ 図画工作科の構造や領域について理解し、学習指導要領にそった学習指導案と試作品を作成できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	文献資料を使い学修し、内容や構成を考え、レポート等を作成することができる。
	働きかけ力	学修内容に興味関心を持って取り組むことができる。
	実行力	指定された内容や様式に従いながら的確に学ぶことについて積極的に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	主観にとらわれず事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	レポート作成や指導案作成等で、見通しを持って最後まで粘り強く取り組むことができる。
	創造力	既存の様式や形態等に捉われず、現代の子どもに必要な資質・能力について思いを巡らし、自分なりの価値観を持ち試作品等を制作することができる。
チームで働く力	発信力	得た知見を的確な文章で表現し、また、傾聴者を考えて、わかりやすい発表をすることができる。
	傾聴力	教員の講義や他者の発表を正確に聞き取り、質問等を交えながら整理することができる。
	柔軟性	制作等で協働的なアクティブラーニングを行う際、チームでの話し合い等に積極的に参加し、チーム全体に貢献できる。
	状況把握力	共同制作等での場の雰囲気等をくみ取り、適切な発言や行動をし、また目標に向かって協力することができる。
	規律性	無断欠席、遅刻、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
ストレスコントロール力	チームにおける課題等に対して全体で共有して解決することで、ストレスコントロール力を身につけることができる。	

テキスト及び参考文献

教科書：文部科学省、『小学校学習指導要領（平成29年度告示）』、
参考書：佐藤洋照・藤江充 著、『図画工作科指導法研究』、日本文教出版、2019
樋口一成 編著 小学校図画工作の基礎 萌文書林 その他、授業内で適宜紹介する。
材料費：500円程度

他科目との関連、資格との関連

他教科との関連：「図画工作研究A」を踏まえた本科目「図画工作教育法」は、「図画工作研究B」の基礎となる科目である。

資格との関連：小学校教諭第1種普通免許状

学修上の助言	受講生とのルール
図画工作科の授業を考えるにあたり、まずその歴史を知って美術教育の本質を学びましょう。次に、自分自身の手を動かし、試行錯誤を繰り返しながら、自分の思いを表現する楽しさを体感してほしいと思います。図画工作科の学びを通して、子どもたちとともに楽しく豊かな生活を創造する表現・鑑賞活動を、探求していきましょう。	系統立てて行う内容がありますので、やむを得ず授業を欠席す場合は連絡をお願いします。実技を伴う学習内容においては、事前に必要な材料や道具をお知らせします。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント					
学修成果	学期末試験	0	①	⑥					
			②						
			③						
			④						
			⑤						
	平常評価	小テスト	0	①		⑥			
				②					
				③					
				④					
				⑤					
		レポート	50	①		✓	⑥	✓	(獲得) 図画工作科を含む美術教育の歴史や変遷、学習指導要領の理解に基づく知識(20%) (活用) 教科の特性を活かして子どもたちにどのような資質・能力を育むべきかの考察ができる(30%) (解決) 学習指導要領に基づく図画工作科の学習指導案を書くことが出来る(50%)
				②		✓			
				③		✓			
				④		✓			
				⑤		✓			
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)	40	①	✓	⑥	✓	(獲得) 図画工作科を含む美術教育の歴史や変遷、現代美術や学習指導要領の理解に基づく作品制作(40%) (活用) 教科の特性を活かした協働的な学びである「造形遊び」について理解できる(20%) (解決) 学習指導案を試作品とともに作成し、教育実践を視野に入れた発表ができる(40%)			
		②	✓						
		③	✓						
		④	✓						
		⑤	✓						
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	⑥	✓	・遅刻、欠席、学習意欲欠如、課題の不提出などがあれば減点する。		
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
			⑤	✓					
総合評価割合		100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
レポート、作品等をすべて提出し、これらの完成度が高く、また試作品を含む指導案の発表内容が秀逸であり、出席状況が良いことがA(優)評価の条件となる。	レポート、作品、指導案、試作品等が提出されており、これらが不足なく水準を超えて完成されていて、出席状況が良好なものがB(良)評価となる。 レポート、作品、指導案、試作品等が提出されており、これらが不足なく完成されていて、出席状況が良好なものがC(可)評価となる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	授業の目的や授業内容、レポート、評価等について知り、学習の見通しを持つ。	講義、演習、反転授業 (google classroomに資料を提示) ワークシートのフィードバック	この科目の目的、内容や評価等について理解することができ、今後の学習への意欲をもつことができる。	(予習) 心に残っている図画工作科の授業や作品を想起する。 (復習) ワークシートの作成 (次週に提出)。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
2	「子どもの作品の発見」に伴う美術教育意識の変革の世界的な変遷や、日本における図画工作科の歴史について、「臨画」の模写をすることによって理解する。	講義、演習、反転授業 (google classroomに資料を提示) ワークシートのフィードバック	美術教育の世界的な流れと、日本における教科名の変遷やその歴史的背景について理解し、「臨画」に取り組んでワークシートを提出することができる。	(予習) 美術教育の歴史について、関心を持つ。 (復習) 社会背景の変化に伴った美術教育の変遷に関するワークシートを作成できる (次週に提出)。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
3	教育関係法規を概観し、重要な事項を理解するとともに、学校教育法と学校教育法施行規則を理解する。また、社会背景の変化に伴った昭和の学習指導要領の変遷と図画工作科の変遷の特徴を理解してワークシートを作成する。	講義、反転授業 (google classroomに資料を提示) ワークシートのフィードバック	教育関係法規の必要部分の概略を理解し、社会背景の変化に伴った昭和の学習指導案の変遷に関するワークシートを作成できる (次週に提出)。	(予習) 社会背景の変化に伴った昭和の学習指導要領の変遷と図画工作科の変遷について関心を持つ。 (復習) ワークシートの作成 (次週に提出)。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
4	教育関係法規を概観し、重要な事項を理解するとともに、学校教育法と学校教育法施行規則を理解する。また、社会背景の変化に伴った平成の学習指導要領の変遷と図画工作科の変遷の特徴を理解してワークシートを作成する。	講義、反転授業 (google classroomに資料を提示) ワークシートのフィードバック	教育関係法規の必要部分の概略を理解し、社会背景の変化に伴った平成の学習指導案の変遷に関するワークシートを作成できる (次週に提出)。	(予習) 社会背景の変化に伴った平成の学習指導要領の変遷と図画工作科の変遷について関心を持つ。 (復習) ワークシートの作成 (次週に提出)。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
5	図画工作科の目標である「造形的な視点」の育成について、印象派、近代、現代アートをもとに考え、現代の社会的課題を表現する作品を制作する。	講義、演習、反転授業 (google classroomに資料を提示) ワークシートのフィードバック	「造形的な視点」の育成について考え、現代の社会的課題を表現する作品制作に意欲的に取り組むことができる。	(予習) 社会背景の変化に伴った芸術の表現内容の変遷について関心を持つ。 (復習) ワークシートの作成 (次週に提出)。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
6	学習指導要領 (小学校図画工作科) の「各学年の目標及び内容の系統表」を用いて、学習内容を構成する表現領域より「造形遊び」に関する低・中・高学年の各目標を理解し、児童作品を鑑賞する。	講義、演習、反転授業 (google classroomに資料を提示) ワークシートのフィードバック	学習指導要領 (小学校図画工作科) の「各学年の目標及び内容の系統表」を用いて、「造形遊び」に対し、児童作品より低・中・高学年の目標が理解できる。	(予習) 学習指導要領 (小学校図画工作科) の「各学年の目標及び内容の系統表」より、「造形遊び」に対する低・中・高学年の目標に関心を持つ。 (復習) ワークシートの作成 (次週に提出)。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
7	学習指導要領 (小学校図画工作科) の「各学年の目標及び内容の系統表」を用いて、学習内容を構成する表現領域より「絵に表す活動」に関する低・中・高学年の各目標を理解し、児童作品を鑑賞する。	講義、演習、反転授業 (google classroomに資料を提示) ワークシートのフィードバック	学習指導要領 (小学校図画工作科) の「各学年の目標及び内容の系統表」を用いて、「絵に表す活動」に対し、児童作品より低・中・高学年の目標が理解できる。	(予習) 学習指導要領 (小学校図画工作科) の「各学年の目標及び内容の系統表」より、「絵に表す活動」に対する低・中・高学年の目標に関心を持つ。 (復習) ワークシートの作成 (次週に提出)。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
8	学習指導要領 (小学校図画工作科) の「各学年の目標及び内容の系統表」を用いて、学習内容を構成する表現領域より「立体に表す活動」に関する低・中・高学年の各目標を理解し、児童作品を鑑賞する。	講義、演習、反転授業 (google classroomに資料を提示) ワークシートのフィードバック	学習指導要領 (小学校図画工作科) の「各学年の目標及び内容の系統表」を用いて、「立体に表す活動」に対し、児童作品より低・中・高学年の目標が理解できる。	(予習) 学習指導要領 (小学校図画工作科) の「各学年の目標及び内容の系統表」より、「立体に表す活動」に対する低・中・高学年の目標に関心を持つ。 (復習) ワークシートの作成 (次週に提出)。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	学習指導要領(小学校図画工作科)の「各学年の目標及び内容の系統表」を用いて、学習内容を構成する表現領域より「工作に表す活動」に関する低・中・高学年の各目標を理解し、児童作品を鑑賞する。	講義、演習、反転授業(google classroomに資料を提示)ワークシートのフィードバック	学習指導要領(小学校図画工作科)の「各学年の目標及び内容の系統表」を用いて、「工作に表す活動」に対し、児童作品より低・中・高学年の目標が理解できる。	(予習)学習指導要領(小学校図画工作科)の「各学年の目標及び内容の系統表」より、「工作に表す活動」に対する低・中・高学年の目標に関心を持つ。(復習)ワークシートの作成(次週に提出)。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
10	学習指導要領(小学校図画工作科)の「各学年の目標及び内容の系統表」を用いて、学習内容を構成する鑑賞領域より「鑑賞活動」に関する低・中・高学年の各目標を理解し、児童作品を鑑賞する。	講義、演習、反転授業(google classroomに資料を提示)ワークシートのフィードバック	学習指導要領(小学校図画工作科)の「各学年の目標及び内容の系統表」を用いて、「鑑賞活動」に対し、児童作品より低・中・高学年の目標が理解できる。	(予習)学習指導要領(小学校図画工作科)の「各学年の目標及び内容の系統表」より、「鑑賞活動」に対する低・中・高学年の目標に関心を持つ。(復習)ワークシートの作成(次週に提出)。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
11	ICTの活用による動画の制作	講義、演習、反転授業(google classroomに資料を提示)google classroomに課題を提出する。	学習指導要領(小学校図画工作科)の「各学年の目標及び内容の系統表」を用いて、動画制作が学習内容を構成する表現領域の「絵に表す活動」に関する領域であることを理解した上で、低・中・高学年の各目標を理解し、動画作品を制作できる。	(予習)動画撮影に必要な小物を準備し、動画の構成を考える。(復習)動画作品を完成させ、google classroomに提出する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
12	図画工作科における教科横断型「STEAM教育」と持続可能な開発のための教育「ESD」について理解を深めて、それらを活かした学習指導案を作成する。	講義、演習、反転授業(google classroomに資料を提示) ・ https://www.steam-library.go.jp/ (オープンエデュケーション)ワークシートのフィードバック	学習指導案作成のために、図画工作科における教科横断型「STEAM教育」と世界的な潮流となっている「持続可能な開発のための教育(ESD)」について理解できる。テンプレートに沿った学習指導案の書き方が理解できる。	(予習) https://www.steam-library.go.jp/ (オープンエデュケーション)を視聴し、STEAM教育への理解を深めておく。(復習)ワークシートの作成(次週に提出)	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
13	試作品を提示しての学習指導案の発表①	発表、ディスカッション 学習指導案とワークシートのフィードバック	他者の指導案と試作品の良さを認め自分の指導案の改善に活かすことができる。	(予習)学習指導案の様式等について、参考資料を基に確認して試作品を完成させる等、学習指導案発表に向けた準備を行う。(復習)学習指導案、試作品制作に関するワークシートの作成(次週に提出)。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
14	試作品を提示しての学習指導案の発表②	発表、ディスカッション 学習指導案とワークシートのフィードバック	他者の指導案と試作品の良さを認め自分の指導案の改善に活かすことができる。	(予習)学習指導案の様式等について、参考資料を基に確認して試作品を完成させる等、学習指導案発表に向けた準備を行う。(復習)学習指導案、試作品制作に関するワークシートの作成(次週に提出)。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	オンデマンド配信授業実践に対する見通しを持ち、学習指導案と試作品を再検討して、完成させる。	試作品の写真付き学習指導案を再検討して完成させ、google classroomに提出する。	図画工作の授業や学習指導案について理解を深め、指導案に基づく実践を行うことができる。	(予習)学習指導案の再検討および修正(復習)学習指導案へのフィードバックの確認	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力